

- 問1 パソコンやスマートフォンの生産額で世界シェアの多くを占め、「世界の工場」とも呼ばれる国に関する説明として、人口問題の観点から正しいものを選択肢から選びなさい。（2023年 高知県公立入試 類似）
- 先進国からの移民を大量に受け入れることで、ハイテク産業の労働力を補っている。
 - 多民族国家としての調和を優先し、特定の民族に対する人口制限を強化している。
 - かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。
 - 広大な国土を開発するため、一貫して人口増加を奨励する政策をとり続けている。
- 問2 アフリカ諸国の輸出統計において、コートジボワールのカカオ豆（約21%）、ケニアの茶（約22%）、エチオピアのコーヒー豆（約30%）のように、特定の農産物が輸出総額の多くを占めることがあります。このような輸出用の作物を大規模に生産する農業形態の特徴として正しいものはどれですか。（2017年 佐賀県公立入試 類似）
- 家族労働を中心に、自分たちが食べるための穀物を小規模に生産する。
 - 乾燥帯において、わずかな水源を利用して小麦や綿花を栽培する。
 - 家畜の飼育と、その飼料となる作物の栽培を組み合わせた経営を行う。
 - 安価な労働力を使い、特定の作物を大規模に栽培する大農園方式である。
- 問3 東南アジアや南アジアで見られる季節風（モンスーン）について、夏季における風の向きと、それが地域の気候に与える影響を正しく説明したものはどれですか。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- 北極や南極などの高緯度地域から赤道に向かって吹き、年間を通じて地域の気温を大幅に低下させる
 - 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる
 - 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹き、天気を西から東へと周期的に変化させる
 - 陸から海に向かって吹き、乾燥した空気を運ぶため、雨の少ない乾季の原因となる
- 問4 南アジア諸国の工業について、インド、パキスタン、スリランカの3か国を比較したとき、インドの工業出荷額とその構成に関する説明として最も適切なものはどれですか。なお、2018年時点のインドの工業出荷額は約1兆2966億ドルであり、周辺諸国と比べて突出した規模となっています。（2024年 宮城県公立入試 類似）
- 工業出荷額の規模は大きいものの、出荷額の内訳ではスリランカよりも食料品工業の金額が少ない。
 - 繊維工業や食料品工業などの軽工業が中心であり、重化学工業の割合は全体の3割に満たない。
 - 周辺諸国と比較して食料品工業の割合が最も高く、重化学工業よりも農産物加工が優先されている。
 - 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。
- 問5 ユーラシア大陸の構成と特徴について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2026年 岐阜県公立入試 類似）
- ヨーロッパ州と北アメリカ州を合わせた名称であり、赤道が大陸の中央を通過している。
 - アジア州のみを指す名称であり、六大陸の中で最も人口密度が低い大陸である。
 - アジア州とアフリカ州を合わせた名称であり、本初子午線が通る唯一の大陸である。
 - アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。
- 問6 日本とある東南アジアの国との貿易統計において、1999年から2019年の20年間で輸入総額が約2倍に増加し、主な品目に電気機器や金属鉱、相手国にアメリカ・日本・中国が並ぶ国があります。この国において、近年、海外企業のコールセンターといったサービス業が急速に発展している主な背景として適切なものはどれですか。（2022年 東京都公立入試 類似）
- 英語が公用語の一つであり、比較的安価で豊富な労働力を活用できるため
 - 広大な土地を利用した大規模な機械化農業により、小麦の輸出が盛んなため
 - APECに加盟していないため、独自の関税政策で国内産業を保護しているため
 - スペイン語が共通語として広く普及しており、中南米諸国との連携が容易なため
- 問7 モンゴルの草原では、伝統的に「ゲル」と呼ばれる白い円形の移動式住居が使用されています。この住居が、簡単に組み立てや解体ができる構造になっている理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 大阪府公立入試 類似）
- 砂漠化を防ぐために、政府によって同じ場所に3日以上滞在することが禁じられているため。
 - 永久凍土の層が厚いため、地面を掘って基礎を築くことができないため。
 - 森林資源が豊富なため、周囲にある大量の木材を使い捨てにしながら移動するため。
 - 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。
- 問8 アジアとヨーロッパの境界に位置するトルコでは、古くから東西を結ぶ陸上交易ルートの要所として発展してきた歴史があります。このような地理的条件がトルコの文化に与えた影響について説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 愛知県公立入試 類似）
- アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。
 - 周囲を広大な砂漠に囲まれているため、他地域の文化が混ざることなく純粋な伝統文化が維持された。
 - 四方を海に囲まれた島国であるため、大陸の食文化の影響を受けずに独自の海洋文化が形成された。
 - アジアから伝来した稲作文化のみが定着し、パンを主食とするヨーロッパの食文化は全く浸透しなかった。
- 問9 インドネシアの首都では、2000年に約800万人だった人口が2030年には1200万人を上回ることが予測されるなど、急速な人口増加が続いています。このような都市化に伴って発生している深刻な社会課題と、その解決のために進められている取り組みの組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- 周辺地域での砂漠化の進行を食い止めるため、都市部から農村部への大規模な運河建設と植林を行っている。
 - 自動車の普及による深刻な交通渋滞を解消するため、高架鉄道などの公共交通機関を建設している。
 - 都市への一極集中を抑制するため、地方における大規模な工業団地の造成と、都市住民の強制的な移住政策を強めている。
 - 少子高齢化による深刻な労働力不足を補うため、都市部におけるサービス業の自動化と外国人労働者の受け入れを推進している。
- 問10 世界の諸地域の土地利用について述べた次の文のうち、インドの大きな特徴として正しいものはどれですか。主要な国々の土地利用を比較した統計において、インドは農地面積約1億7960万ヘクタールのうち、その大部分である約1億6936万ヘクタールを特定の用途が占めており、これは他国と比較しても際立って高い割合となっています。（2019年 埼玉県公立入試 類似）
- 砂漠や氷雪地などの非農耕地
 - 森林としての利用
 - 耕地・樹園地としての利用
 - 牧草地・放牧地としての利用
- 問11 アラビア半島を中心とする西アジアの国々では、広大な砂漠が広がる一方で、近年では高層ビルが立ち並び近代的な都市が建設されています。このような変化の背景と、現在の産業の動向について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）
- 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。
 - 沿岸部に多くの水上集落を建設することで、厳しい砂漠の気候を避けた生活を送り、伝統的な漁業を国の経済の中心に据えている。
 - 雨季と乾季の交代に合わせた大規模な治水工事を行い、砂漠を広大な水田地帯に変えることで、農産物の輸出を主産業としている。
 - 海外からの多額の経済援助をもとに、砂漠全域を森林化するプロジェクトを完了させ、現在は木材の輸出を最大の収益源としている。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 かつて強力な人口抑制策をとっていたが、現在は労働力確保のために少子化対策へと方針を転換している。	2015年時点の統計でパソコンやスマートフォンの世界生産シェアが極めて高い中国は、豊富な労働力を武器に工業化を進めてきました。しかし、1970年代末からの「一人っ子政策」の影響で現役世代が減少に転じるという課題に直面しました。そのため、政府は2010年代半ばから段階的に制限を緩和し、現在は出産を奨励する少子化対策へと舵を切っています。
問2	答え 4 安価な労働力を使い、特定の作物を大規模に栽培する大農園方式である。	コートジボワールやケニアなどの例は、プランテーションで生産された商品作物が国の経済を支えている状況を示しています。この方式は、特定の作物の国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えやすいという課題を抱えています。
問3	答え 2 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる	アジアのモンスーン地帯では、夏になるとインド洋などの海から温まった大陸に向かって季節風が吹きます。この風は海上の湿った空気を大量に運び込むため、この時期は降水量の多い雨季となります。選択肢にある「西から東に向かって吹く風」は偏西風の説明であり、季節によって向きが変わる季節風とは異なります。
問4	答え 4 石油製品、化学、金属、機械といった重化学工業の割合を合計すると、全体の6割を超えている。	インドは南アジアの中で圧倒的な工業規模を誇っており、その産業構造は高度化しています。2018年の統計によれば、機械（21.8%）、金属（17.2%）、化学（13.1%）、石油製品（12.8%）となっており、これら重化学工業に該当する分野の合計が約64.9%と、全体の6割以上を占めているのが大きな特徴です。繊維工業などが中心となる周辺諸国とは、工業の構造が大きく異なります。
問5	答え 4 アジア州とヨーロッパ州を合わせた名称であり、地球上の陸地の中で最大の面積を持つ。	ユーラシアという名称は「ヨーロッパ」と「アジア」を合成した造語です。地理的には一つの地続きの陸塊ですが、歴史的・文化的な背景が異なるため二つの州に区分されています。面積は他の大陸と比較しても最大であり、世界の陸地面積の約40%近くを占めています。
問6	答え 1 英語が公用語の一つであり、比較的安価で豊富な労働力を活用できるため	フィリピンはかつてアメリカの統治下にあった歴史的背景から英語が公用語となっており、欧米企業が顧客対応を行うコールセンターの拠点として選ばれる要因となっています。また、1億人を超える人口背景による労働コストの優位性も、サービス業や電気機器などの製造業の発展を支えています。
問7	答え 4 家畜の餌となる草や水を求めて、季節ごとに場所を移動しながら生活する必要があるため。	遊牧という生活形態は、自然環境に合わせて家畜とともに移動し続けることが前提となっています。そのため、住居には「軽量であること」「短時間で解体・組み立てができること」が求められます。ゲルは木製の骨組みと家畜の毛から作ったフェルトで構成されており、遊牧民の合理的な知恵が詰まった住居といえます。
問8	答え 1 アジアとヨーロッパの食文化が融合し、羊肉やヨーグルトなどを活用した独自の料理が発展した。	トルコは小アジア半島（アナトリア半島）を中心とした地域に位置し、アジアとヨーロッパを結ぶ交通の要所として栄えてきました。この地理的背景により、東のアジア系民族の伝統と西のヨーロッパの文化が混ざり合い、食文化においても羊肉やヨーグルトを用いるなど、両地域の要素が組み合わさった世界的に有名な食文化が形成されました。
問9	答え 2 自動車の普及による深刻な交通渋滞を解消するため、高架鉄道などの公共交通機関を建設している。	インドネシアのジャカルタなどの大都市では、経済発展と急速な人口増加に伴って自動車やバイクが普及した結果、激しい交通渋滞が大きな社会問題となっています。この問題は経済活動の停滞や大気汚染を引き起こすため、対策として道路の混雑に左右されない高架鉄道や地下鉄といった公共交通機関の整備が急ピッチで進められています。選択肢にある砂漠化や高齢化による労働力不足は、現在のインドネシアの主要な都市課題とは異なります。
問10	答え 3 耕地・樹園地としての利用	インドは世界有数の農業国であり、国土面積に占める農地面積の割合が非常に高いのが特徴です。特に、農地の中でも家畜を飼育するための牧草地などではなく、作物を栽培するための「耕地・樹園地」が大部分を占めている点が他国にはない強みです。これは、広大なヒンズースタン平原やデカン高原など、耕作に適した地形とモンスーンによる降水がもたらす恵みを活用し、古くから多くの人口を支えるための食料生産を行ってきた背景があります。
問11	答え 1 石油の輸出で得た豊富な資金を背景に、都市の基盤整備を進めるとともに、将来の資源枯渇を見据えて観光開発などにも力を入れている。	西アジアのアラビア半島周辺の国々では、埋蔵されている豊富な石油（原油）の輸出によって莫大な資金を獲得してきました。この資金を投入して、かつては砂漠だった場所に冷暖房の完備された高層ビルや道路などのインフラを整備し、急速な近代化を成し遂げました。近年では、石油資源が将来的に枯渇することや、世界的な脱炭素の動きを考慮し、石油依存からの脱却を目指してドバイなどの都市を中心に観光開発や金融ビジネスにも注力しています。